

BPT026-P02

会場:コンベンションホール

時間:5月24日 10:30-13:00

中国におけるピケルミ動物群：ヒッパリオン類（ウマ科）で示されるユーラシアの後期中新世における類似性と独自性 Chinese Pikermian fauna: its similarity with those of other areas and uniqueness in Late Miocene Eurasia

フォルテリウス, M.¹, 渡部 真人^{2*}

Mikael Fortelius¹, Mahito Watabe^{2*}

¹ ヘルシンキ大学, ² 林原古生物学研究センター

¹University of Helsinki, ²Center of Paleobiological Research

中国におけるピケルミ動物群（ヒッパリオン動物群）は、近年その年代論が整理されてきた。これに基づき、その産地・地層から産出するヒッパリオン類の系統分析を、ユーラシアの他地域からものと合わせて行った。その結果、中国北部におけるヒッパリオン類のいくつかは、ユーラシア西部および中央部に特徴的に見られるものと近縁であった。このことは、その乾燥環境と共に、この共通分類群がユーラシアにその時代広く分布したことを示す。生物地理学的にユーラシア東西で動物の拡散、移入が可能な環境が出現した。また、中国からは、同時代の他のユーラシア化石産地からのものとは明らかに異なるヒッパリオン類が認められた。これらは、より原始的な形態と派生的な形質をあわせ持っており、その形態は、北米におけるヒッパリオン類の一部と類似する。この類似性は、双方の系統的（生物地理学的）類似性を示す：という仮説が提唱される。中国北部におけるこの共通分布ヒッパリオン類とエンデミックな分類群とは、産出産地がことなり、それは地質年代的な違いを反映する可能性は排除できないが、古環境を反映していることが強く示唆される。ピケルミ哺乳動物群を生み出した乾燥環境は、ユーラシアの西部に出現し、その分布を東部まで拡散したが、東部においてはその分布は限定的であったのだろう。

キーワード: 中新世, 哺乳類, 中国, ヒッパリオン, 古環境

Keywords: Miocene, Mammals, China, Hipparion, Paleoenvironments